

▶ 横浜市立大学

ゲストスピーカーから、学際的な視点を学ぶ

医学部 3年 雨宮愛理さん

1年次の授業「医療と倫理」は、多分野の専門家、闘病生活を体験された方など毎回異なる講師を迎え、医療を取りまく問題を学ぶ一風変わった授業だ。自らのがん闘病記を連載した朝日新聞記者、上野創さんは、告知とインフォームドコンセ



ント、治療と再発、結婚、職場復帰の話^{しんし}を真摯に語ってください、いのちの大切さについて改めて考えた。「勉強、読書、旅行、サークル活動、そして恋愛などを十分味わい、人間の幅を広げてほしい」というメッセージが心に響いた。この授業はすべての学部に開かれており、学際的な考え方を身につけることができる。フレッシュな時期に多様な視点を学べる、市大ならではの自慢の授業だ。